

初期茎数確保に努めましょう！

6月は初期に有効茎数を確保する時期です。気象庁による5月25日以降1ヶ月は気温で70%の確立で平年よりも高く、日照時間も40%の確率で平年よりも多い予報となっています。

晴天の日は浅水にして分けつの促進を図ってください。ただし、夜間の低温、遅霜に注意が必要です。

除草剤の散布は適期に適正な使用方法で！

(1) 散布適期の判断

現在使用されている除草剤（一発剤）は、仕上げ代～移植までの日数を約5日以内として散布時期が設定されています。

そのため、代かきから移植まで5日以上空いた場合は、その日数分、散布時期も早めましょう（活着確認後）。

(2) 散布時～散布後の水管理について

田面の露出がないように湛水状態で止水にして散布します。

粒剤：水深3～5cm、

フロアブル：5cm程度

散布後7日間は入水や落水を避けて、水の移動や流出を防ぎます。

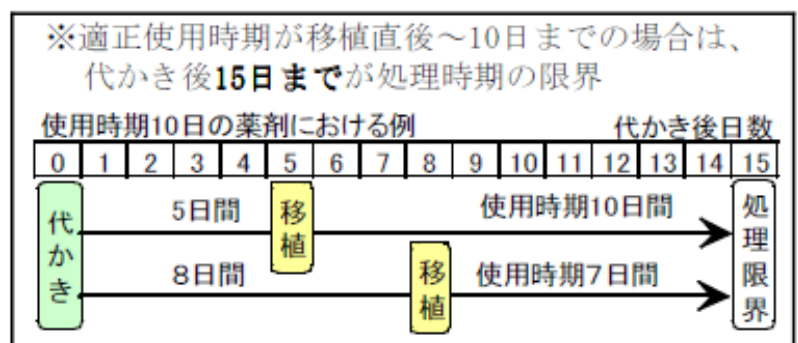


図 除草剤処理時期

やむを得ず、差し水を行う場合はゆっくりと行いましょう。